

うことに決定した。

大子町ならではの特色ある教育、学習の成果を世界に向けて発信していくウェブサイトと位置づけ、7月に具体的な操作についての研修が行われることになった。

2. ポータルサイト研修会

サイトの操作研修は午前と午後ほぼ同じ内容を2回に分けて7月26日に実施した。会場は大子町立だいご小学校コンピュータ室で、各校から3-4名が参加した。

当日、研修に先立って行われた、さはら小学校の「夢道場」における児童による野菜の収穫、販売体験学習に大学院生が参加し、その後、大子町がウェブサイトが発信すべき内容についてまとめ、午前中の研修で発表してくれた。閲覧者の目線に立った学校ウェブサイトを意識して創り上げていくことは、非常に重要である。研修終了後、夏季休業中に各校ウェブページの公開準備を進められた。

3. 完成した「大子町教育ポータルサイト」²⁾

結果的に10月より順次公開されたサイトは2月までの5ヶ月間で20844の総アクセスを獲得。各校の投稿記事数は多いところで90件、

少ないところで5件と毎月最低1件のサイト更新は達成された。アクセス数と記事数には正の相関がはっきりと見られ、今後の各校担当者が家庭での親子の会話のきっかけとなる記事、あったことだけでなく感じたこと、考えたことを書いた記事等、定期的に更新していくことが一方的にならない「見てもらえる学校ウェブサイト」となっていくことになる。

学校紹介のページや日々の学習や活動の報告を児童生徒に担当させたり、他県との交流を行ったりという事例もすでに報告されており、子どもたちの情報モラルを向上させるために大きな効果をあげている。今後さらにポータルサイトを活用して、大子町らしい教育実践をリアルタイムで発信していただきたい。

注

¹⁾ NetCommons は大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構の登録商標である。

²⁾ ポータル (portal) という語は、もともと「玄関口」や「出发点」といった意味を持っている。大子町教育ポータルサイトとは大子町の学校や教育委員会へ訪れる際の入口となるサイトという意味である。

